

ヤングケアラー高校生年齢児の実態調査の報告について

1. 調査の目的

ヤングケアラーと言われる子どもたちの実態を把握し、今後の効果的な支援方法を検討すること及びヤングケアラーの啓発を図るため

2. 実施期間

令和7年2月17日～3月16日まで

3. 方法

区内在住高校生年齢の児童

郵送にて配布した資料からQRコードを読み込み、各自パソコンなどで回答
任意の記名式

4. 調査回答数について

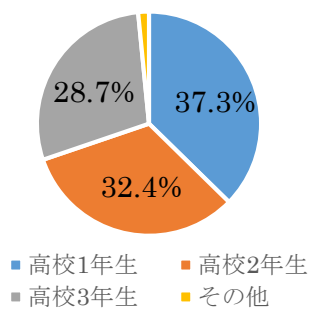
(1) 対象

	対象数	回答数	回答率
豊島区在住高校生年齢の児童	5,230 人	450 人	8.6%
前回（令和4年度）の実績	4,493 人	571 人	12.7%

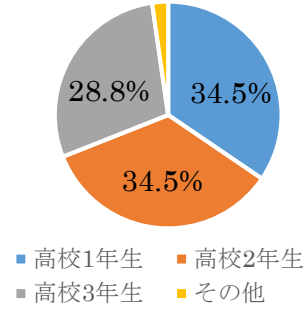
(2) 回答者の学年等

	回答数	前回回答数 (令和4年度)
高校1年生	168 人	197 人
高校2年生	146 人	197 人
高校3年生	129 人	164 人
その他	7 人	13 人
合計	450 人	571 人

学年別回答割合（令和6年度）



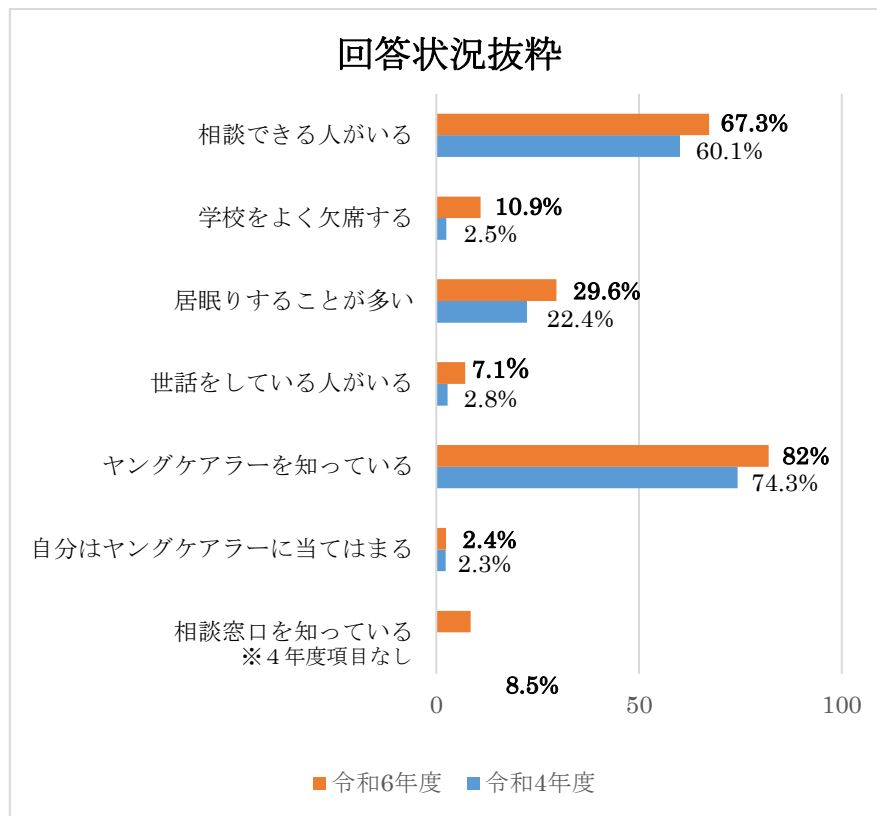
学年別回答割合（令和4年度）



5. 主な回答（単純統計）

	回答数	前回回答数
悩んだり、困っていることがある	266 人 (59.1%)	394 人 (69.0%)
相談できる人がいる	303 人 (67.3%)	343 人 (60.1%)
いない	8 人 (1.8%)	23 人 (4.0%)
いるがしたくない	85 人 (18.9%)	115 人 (20.1%)
いるが、今は相談がない	54 人 (12.0%)	51 人 (8.9%)
学校をよく欠席する	49 人 (9.0%)	14 人 (2.5%)
たまに欠席する	50 人 (11.1%)	67 人 (11.7%)
ほとんど欠席していない	340 人 (75.6%)	448 人 (85.5%)
学校生活で 居眠りすることが多い	133 人 (29.6%)	128 人 (22.4%)
宿題ができない	55 人 (12.2%)	73 人 (12.8%)
提出物、忘れ物が多い	103 人 (22.9%)	146 人 (25.6%)
1人で過ごすことが多い	33 人 (7.3%)	45 人 (7.9%)
家族の中に世話をしている人がいる	32 人 (7.1%)	16 人 (2.8%)
このことを相談したことがある	6 人 (1.3%)	3 人 (18.8%)
ヤングケアラーということばを知っている	369 人 (82.0%)	424 人 (74.3%)
知らない	81 人 (18.0%)	146 人 (25.6%)
自分はヤングケアラーに当てはまる	11 人 (2.4%)	13 人 (2.3%)
当てはまらない	410 人 (91.1%)	530 人 (92.8%)
わからない	29 人 (6.5%)	28 人 (4.9%)
ヤングケアラーの相談窓口を知っている	34 人 (8.5%)	※4年度項目なし
知らない	416 人 (92.4%)	—————

※記名あり、連絡可能は28人。そのうちヤングケアラー（世話をしている人がいる）との回答1人。



6. 自由回答（一部）

- ・大学までの学費の無償化
- ・大人への啓発
- ・学校で授業をして広める
- ・授業で経験談を話してもらう。
- ・チャットやLINE で相談できるとよいのでは。
- ・気軽に話せる場所がもっと増えてほしい。
- ・アンケートが届いて、自分と向き合える時間が取れるのはいいことだと思う
- ・やさしい日本語版のアンケートがあり感動した

7. 今後のスケジュール

令和7年 10月 区立小学校4年生から中学3年生までの調査を実施予定